

## 令和3年度岡崎市食育推進会議 会議録

開催日時 令和4年3月25日(金) 午後2時から午後3時まで  
開催場所 岡崎市役所東庁舎6階 601会議室  
出席者 安藤明美委員、小野琢委員、新家智明委員、山本潤委員、  
織田盛久委員、青木裕明委員、浅田英嗣委員、小路光子委員  
早川勝博委員、市川文勇委員、浅岡謙治委員、安藤智里委員  
小山内美帆委員、山本公德委員、安藤直哉委員  
欠席者 山田悠莉委員、宇都宮森和委員、太田健介委員  
事務局 神尾清成(保健部長)、服部悟(保健所長)、  
青山政美(健康増進課長)、小早川真治(健康増進課副課長)、  
鈴木久美子(健康増進課主任主査)、桑原純子(健康増進課  
主任主査)、松尾貴子(健康増進課会計年度任用職員)  
傍聴者 なし

### 会議次第

挨拶

議事

#### 1 報告事項

- (1) 令和3年度食育推進に係る取組状況(健康増進課)、地域での食育の推進事業について
- (2) 第17回食育推進全国大会 in あいちの出展について

#### 2 議題

- (1) 令和4年度食育推進事業について
- (2) 第3次岡崎市食育推進計画最終評価について
- (3) 第4次岡崎市食育推進計画の策定について

#### <会議資料>

- 資料1 令和3年度食育推進に係る取組事業(健康増進課)、地域での食育の推進事業
- 資料2 第17回食育推進全国大会 in あいち
- 資料3 第4次岡崎市食育推進計画期間
- 資料4 令和4年度食育推進事業について
- 資料5 第3次岡崎市食育推進計画最終評価、第4次岡崎市食育推進計画策定スケジュール
- 資料6 第3次岡崎市食育推進計画 計画の体系

#### <参考資料>

第3次岡崎市食育推進計画概要版

## 第4次食育推進基本計画の概要 あいち食育いきいきプラン 2025 概要

### 議事要旨

#### 1 報告事項

- (1) 令和3年度食育推進に係る取組状況（健康増進課）、地域での食育の推進事業について
- (2) 第17回食育推進全国大会 in あいちの出展について

（事務局）

委嘱後初めての会議となるため、はじめに参考資料の〔第3次岡崎市食育推進計画（概要版）〕を用いて第3次岡崎市食育推進計画の重点事項、おかざき食育やろまいプロジェクトについて説明。8つのプロジェクトを推進しており、野菜摂取量の増加、朝食を欠食する人の減少、地産地消の推進、食品ロスの削減、食文化の保護・継承の5つを重点的に取組む事項としていることを紹介した。

続いて資料1の〔令和3年度食育推進に係る取組事業（健康増進課）、地域での食育の推進事業について〕に基づき、令和3年度に行った主な取組等について報告。「野菜を食べよう大作戦!」、「まめ吉通信」の発行、「いがまんじゅう作り」の動画作成及び配信、岡崎市学校給食協会の事業である枝豆収穫体験についての説明をした。新型コロナウイルス感染症の状況により中止した事業もあったが、オンライン教室やYouTubeを始めとする新しい手法も経験することができ、今後もニーズの変化に対応しながら食育を推進していきたい。

引き続き資料2の〔第17回食育推進全国大会 in あいちの出展について〕に基づき、令和4年度は6月18日、19日に常滑市のアイチスカイエキスポで食育推進全国大会が開催されるため、岡崎市及び関係団体も出展を予定しており「まめ吉とやろまい食育!～見て、学んで、おうちで実践しよう～」というテーマで出展する予定を報告した。

〔質疑・応答等〕

なし

#### 2 議題

- (1) 令和4年度食育推進事業について

（事務局）

はじめに第3次岡崎市食育推進計画と第4次岡崎市食育推進計画の期間について資料3〔第4次岡崎市食育推進計画期間〕に基づいて説明。第3次計画については、当初は令和3年度までの計画としていたが、新

型コロナウイルス感染症の影響により中間評価以降の事業の実施が難しかったことから、昨年の食育推進会議で承認をいただき、1年延長して令和4年度までの計画になっている。第4次計画の期間については、上位計画である国・県の計画が令和7年度までの期間とされており、国・県の計画の方向性を踏まえて見直しを行うことから終了年度は変更せず、令和5年度から8年度までの4年間の計画期間としたい。そのため、令和4年度に第3次計画の最終評価を実施し、令和4年度末に第4次計画を策定して令和5年度からスタートする予定。

資料4 [令和4年度食育推進事業について]に基づいて説明。令和4年度は第3次岡崎市食育推進計画の最終年度になるため、その集大成として食育を体験できるイベントを実施する予定であるが、コロナ禍では集合型のイベントは難しいため、新しい生活様式を踏まえた分散型のまちなかで食育を体験できるものにしたい。実施期間については令和4年8月～9月を想定。夏休み期間であること、これまで「野菜を食べよう大作戦！」を実施していた期間と重なるため、合わせて周知啓発できること、すでに康生地区を中心にまちなかで分散型の講座を実施しているまちゼミの開催期間であることからこの期間を選定した。開催場所については、市内の飲食店やスーパー、産直施設、個人商店等の販売店、事業所、公共施設などの場所で各々実施することを想定。内容については、各店舗や事業者ができる食育の取組と公共施設等で行う料理教室などの講座、オンライン講座などを組み合わせて実施することを想定。また、来年1月にはじまる大河ドラマから家康公への注目が集まることが予想されるため、家康公を食育の取組にも関連付けていきたい。

資料4裏面にこのイベントをイメージ化したイラストを掲載。イベントについては委員の皆様にも協力いただきたいことをお願いした。

[質疑・応答]

なし

(議長)

令和4年度食育推進事業については、説明のとおり、取組を進めていく。

- (2) 第3次岡崎市食育推進計画最終評価について
- (3) 第4次岡崎市食育推進計画の策定について

(議長)

(2)と(3)については関連があるので2つ続けて事務局から説明する。

(事務局)

上位計画である国の「第4次食育推進基本計画」、愛知県の「あいち食育いきいきプラン 2025」が令和3年3月に策定された。国の計画では、

基本方針として①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進(健康の視点)、②持続可能な食を支える食育の推進(社会・環境・文化の視点)、③新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進(横断的視点)の3つが重点事項となっている。これまでの若い世代を中心とした食育の推進から、ライフステージ、ライフスタイルに応じた食育の推進となり、無関心層に向けた自然と健康になるという視点も加えられ、持続可能な食を支える食育の推進ではSDGs、食育の取組を展開する上では、コロナ禍を考慮して新たな日常やデジタル化への対応が新たに加えられている。また目標値では「学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす」、「環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす」等の項目で新たな目標値が設定された。岡崎市においても最終年度にあたる令和4年度に「食育に関するアンケート」を実施し、そのデータを基に最終評価を行う。アンケートについては、計画策定時と中間評価時とを比較する目的から、これまでの質問項目をベースに国の新たな指標となった環境への配慮、農業体験等の質問を加え実施したい。

最終評価から第4次岡崎市食育推進計画策定に向けたスケジュールについて資料5に記載。変更点は、アンケートは10～11月に実施していたものを9月の実施に変更。計画段階でもイベントやパネル展示等を通して直接市民の方からの意見を聴取していく。

続いて、資料6〔第3次岡崎市食育推進計画 計画の体系〕を用いて第4次岡崎市食育推進計画の策定について説明。第3次計画からの継続性に配慮しながら、環境への配慮、地産地消の推進、デジタル化など国や県が新たに示した内容、SDGsの視点を加え、より市民の皆様が実践しやすく分かりやすいということを意識して計画を策定していく。5つの重点事項については、アンケート結果を踏まえ検討していくが③地産地消の推進、④食品ロスの削減については関係課が中心となる取組となることから連携を強化しながら、健康増進課が中心となる①野菜摂取の増加、⑤食文化の保護継承の推進に力を入れていく。特に来年は大河ドラマの影響もあり家康公に注目が集まると予想されることから、家康公の健康長寿や地域の魅力(岡崎の食、食文化)を軸とした岡崎らしい食育推進の取組を展開できるようにしていきたい。委員の皆様には最終評価、計画策定の各段階で御意見を賜りたい。

〔質疑・応答〕

(議長)

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

(委員)

第4次食育推進基本計画の概要の2ページ目右側の12で、環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やすということで、現状値が67.1%となっているが、農水のほうから示された数値はもっとすごく低いと認識

している。その点についてはいかがか。

(事務局)

これは国の、食育のアンケートを取ったときの数字での評価になるので、聞き方がちがうものなのかもしれない。

(委員)

承知した。

(議長)

本来はもっと低いものか。

(委員)

もっと低い。一けた台である。

(事務局)

国のアンケートで言うと、環境に配慮した農林水産物や食品を選ぶという内容で、農薬や化学肥料に頼らず生産された有機農産物や過剰な包装でなくごみが少ない商品を選ぶということ等が入っているので幅が広がっている。

(議長)

聞き方による、ということだと思う。ほかに質問等はないか。

(委員)

内容等のことではないが、結果的に第4次の推進計画が1年短縮されてしまうということで、そのことが全体の計画内容に影響を及ぼすことはないのか。

(事務局)

令和4年度については、今行っている第3次の食育計画を引き続き推進しながら第4次計画につなげていくということになり、空白期間ができるわけではないので大勢には影響がないと考えている。中間報告等していく中でも第4次計画の後期の部分で影響が出ないかを注視していくので、委員の方にもそういった面でも見ていていただきたい。

(議長)

ほかに質問等はないか。

(委員)

愛知県の新しいプランでは、食育を支える取組というのがプラスされ、食育に関わる人材の育成が新しくプラン化されている。岡崎市の新しい第4次の計画にもそのような内容を盛り込んでいただいて、食育に関わる人材の育成というところも考えていただきたい。

(議長)

貴重な御意見ありがとうございます。ほかはよろしいか。

(委員)

第4次食育推進基本計画の2枚目、目標の5の⑥で栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数とあるが、栄養教諭の人数が少なくて十分な活用ができない、要望に応えることができないといった話

を聞く。この辺については岡崎市だけでできることではないと思うが 必要な人材を確保するようにしていただきたい。

(委員)

栄養教諭の免許を持っている人が少ないというのもあるが、栄養教諭は県から配置されることになっている。岡崎市で独自に栄養教諭を雇うというのもあるが、県に働きかけるということはやっていきたいと思う。

(議長)

ほかはいかがか。

(委員)

第4次食育推進基本計画の重点項目に新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進とある。新しい生活に対応するためのデジタル化を推進していくための肝となるもの、推し進めていくために必要なものをどのように考えられているかをおしえていただきたい。

(事務局)

全てがデジタル化できるというものでもないと思っている。使えるツールはたくさん使っていこうと考えており、先ほど報告させていただいたようにズームを使った講座やYouTubeでの配信等をやりながら、さらに臨場感をもってできるような食育の推進というのを合わせてやっていく。今の段階ではデジタル化だけに頼らずに両輪でやっていきたいと岡崎市としては考えている。

(議長)

ほかはいかがか。小中学生のアンケートについて、書面で行うことを考えていると思うが、小中学生についてはタブレットを使用したアンケートができるのでそれでやるといい。

(事務局)

改めて御相談させていただく。

(委員)

資料「第4次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標」の中で、学校給食における地場産物を活用した取組等を増やすとあるが、学校給食センター運営協議会のほうでは、給食費を値上げするということが問題になっている。地場産物を使うとコストは上がるものなのか。

(事務局)

地場産物を使うということは地産地消、地消地産にも関係してくると思う。地域でそういったものがたくさん作られていて安く手に入るという面と、逆にそこにこだわってしまうことで高くなるという両面があると思う。その辺のバランスを取りながらになると思うので、必ず高くなる必ず安くなるとは申し上げられない。

(委員)

地場産物については時々問題になる。学校給食に導入する場合に課題があるとしたら、給食は35,000食くらい作るので、例えば一つの給食セン

ターで6,000食くらい作るとして、一つの食材を地場産物でそれだけ大量に安定的に入れられる業者、生産者がいないことが大きな問題だと聞いたことがある。もちろん費用の面でもあるがそういった物理的な面でも課題がある。

(委員)

今話のあった学校給食への提供については、やはり35,000食分の材料を一気に揃えるのは地元の中だけでは難しいのが実態。現在取組んでいるのは、どこどこの給食センターという一つの施設、そこでの対応という形であって全てをとというのはなかなか難しいところでもある。時期的なことや、値段的なこと難しい部分がある。個人的な意見だが、コロナあるいは世界情勢により原材料、製造原価がすごく上がっているためそれを価格に転嫁できるような御配慮もいただきたい。

(議長)

ほかはよろしいか。それではこちらは協議事項になるのでお諮りする。ただいま議題となっている「第3次岡崎市食育推進計画最終評価について」は、説明のとおり取組を進めてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(議長)

異議なしということなので進めさせていただく。続いて「第4次岡崎市食育推進計画の策定について」は説明のとおり取組を進めてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(議長)

いずれも異議なしということなので、説明のとおり進めさせていただく。本日事務局から提示された議題は以上となるがほかに意見等はあるか。

(委員)

なし。

(議長)

最後に事務局から連絡事項はあるか。

(事務局)

令和4年度の食育推進会議の開催予定について申し上げる。この食育推進会議は令和5年3月に、専門委員会議は今年の6月と12月に開催することを予定している。通知等送付するのでよろしくお願ひしたい。

(議長)

本日の議事については以上となる。

—閉会—